説明資料 (第2稿)での記載箇所
 章項目
 5.1.2
 ページ
 p.9
 行
 18行目

 事業名
 河川レンジャー
 河川名
 淀川水系

 府県
 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

現状の課題

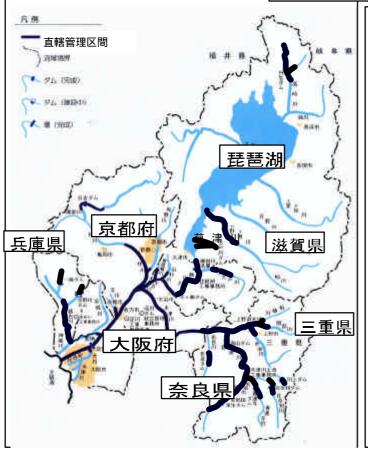
住民の参加等による新しい河川 管理の推進が求められている。

河川整備の方針

河川管理者は河川に関する情報の積極的な収集と解りやすい情報を発信し、住民との意見交換が継続的に行えるような機会を設ける。

今後の河川整備計画の推進にあたっては、計画の 検討段階から住民及び住民団体等地域に密着した 組織との連携を積極的に行っている。その際、双方は お互いの責任、役割分担等を常に確認する。また、 合意形成を目指して、それらの組織を活かした公正 な仕組みを検討する。

位置図

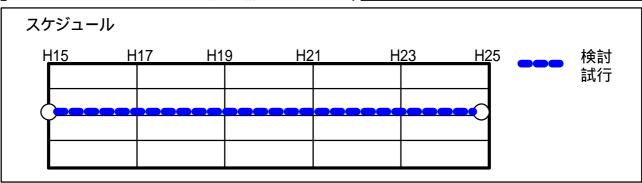


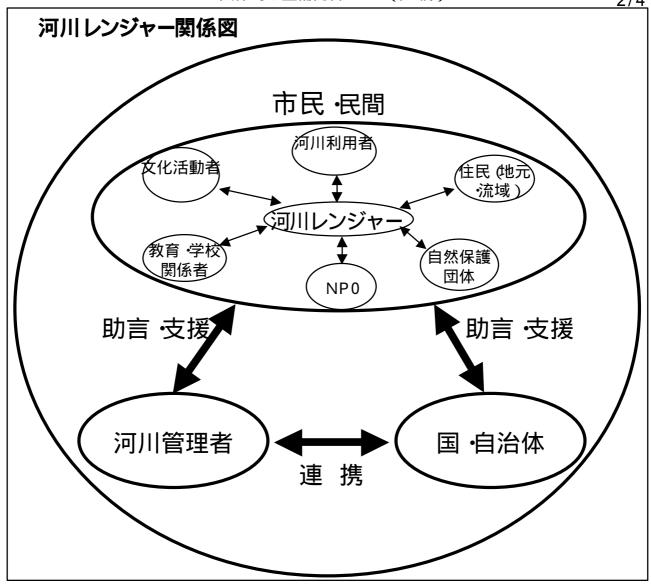
具体的な整備内容

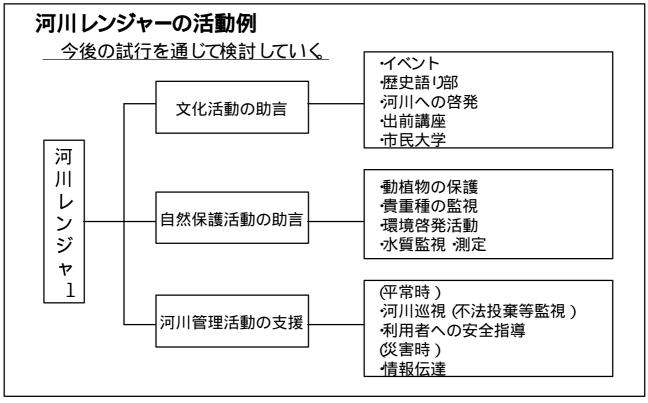
地域固有の情報や知識に精通した 住民団体や地域に密着した組織等から河川関係 (河川法、河川環境など)の基礎知識を有する者を河川レンジャー (仮称)として任命する。河川レンジャーは河川に係る文化活動、自然保護活動を助言し、河川管理行為を支援する。

河川レンジャーの活動拠点として、当面は、既設設備である淀川資料館、河川公園管理所、水のめぐみ館、遊水スイスイ館、三栖閘門資料館等を試行的に活用する。

まず淀川河川事務所伏見出張所構 内の三栖閘門資料館において、三栖 閘門周辺及び山科川を対象に試行す る。また、これら場所は川に関する 人々の交流の場としても活用する。







呼成 15年 7月 7日版】

河川レンジャーの試行方針

河川レンジャーの試行

河川レンジャーの試行にあたっては、検討会を設置し、平行して実施します。

試行における検討内容

試行を通じて、河川レンジャーの活動内容や役割等を検討 していきます。

試行段階の活動拠点

宇治川・伏見地区の河川レンジャーの試行のため、地域の情報収集及び地域への情報発信基地としての活動拠点を三栖閘門資料館(伏見出張所)に置き、活動します。



既存施設の外観写真



淀川資料館



河川公園管理所 (鳥飼サービスセンター)



Water Station琵琶



遊水スイスイ館